

# YASUGI SHINKA BOOK

第3次安来市総合計画 2026-2035

## 第3次安来市総合計画について

1. 安来市の概要 …………… 1
  - (1) 安来市の位置と地勢
  - (2) 安来市の特性
  - (3) 人口の推移
  
2. 総合計画について …………… 5
  - (1) 策定の趣旨
  - (2) 第3次安来市総合計画の役割
  - (3) 総合計画の構成と期間
  - (4) SDGsの推進
  - (5) 地域幸福度 (Well-Being) 指標を  
活用したまちづくりの推進
  - (6) 総合計画審議会
  - (7) 総合計画策定の経過
  - (8) 掲載出典

# 1 安来市の概要

## (1) 安来市の位置と地勢

安来市は、島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、東は米子市・南部町、南は日南町（以上鳥取県）・奥出雲町、西は松江市・雲南市に接しています。

市域は、東西およそ22km、南北およそ28kmで、面積は420.93平方キロメートルです。

南部は、豊かな緑に覆われる中国山地が連なり、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川全流域が市域に含まれます。下流域に形成された三角州には広大な耕地が広がり、上流域には豊かな森林と県東部の水瓶としての機能も果たす布部ダム・山佐ダムがあります。

そして、どじょうすくいで有名な民謡「安来節」などの文化、戦国大名尼子氏の本拠地として栄えた歴史、世界的なシェアをもつ高級特殊鋼の生産加工を中心とした産業、海外からも高い評価を受ける足立美術館などの観光地、南北に広がる豊かな自然など、魅力的な地域資源があります。

また、JR山陰本線の安来駅・荒島駅や山陰自動車道安来インターチェンジがあり、島根県の東の玄関口であるとともに、山陰地方の経済・人口が集積する中海・宍道湖・大山圏域の一角を占める地理的にも恵まれた地域です。



## (2) 安来市の特性

### 1 優れた景観を保有し、自然と共生するまち

ラムサール条約に登録されている中海、飯梨川・伯太川などの河川、平野、中国山地に連なる緑など、美しく豊かな自然環境に恵まれ、源流から河口まで広がる広大な市域と優れた自然景観を有しています。これらは、里山資本主義の考え方を取り入れた農林業の育成、環境ビジネス・アグリビジネス創造のポテンシャルにつながるとともに、暮らしやすい、自然と共生するまちの要件となっています。

### 2 文化・歴史・産業振興に活かす資源が豊富なまち

全国的に知れ渡る民謡「安来節」をはじめ、月山富田城跡など個性豊かで優れた伝統芸能・歴史的建造物・美術など多彩な文化を有しており、これらの活用によって市内外から多くの人々が訪れ、交流が広がることを期待できるまちです。

### 3 ものづくりの伝統と技術を保有するまち

たたら製鉄の流れをくむ金属関連製造業、豊かな自然環境を活かした観光産業等、地域特有の歴史・資源を活かした産業育成が進められ、他地域では代替できないオンリーワンの高い付加価値を創り出すことができるポテンシャルを有しているまちです。

### 4 中海・宍道湖・大山圏域の立地特性を活かせるまち

島根・鳥取両県の結節するエリアに位置し、松江市と米子市に隣接しています。この地域は山陰地方の人口・産業の集積地であり、中海・宍道湖・大山圏域の5市7町村との連携により広域的な強みを活かしたまちづくりが可能なまちです。中でも松江市、米子市、出雲市、境港市の4市とは、目的に応じた戦略的提携、リスクマネジメントが可能という強みがあります。

### 5 それぞれの地域性と、住む人の地域活動への参画のあるまち

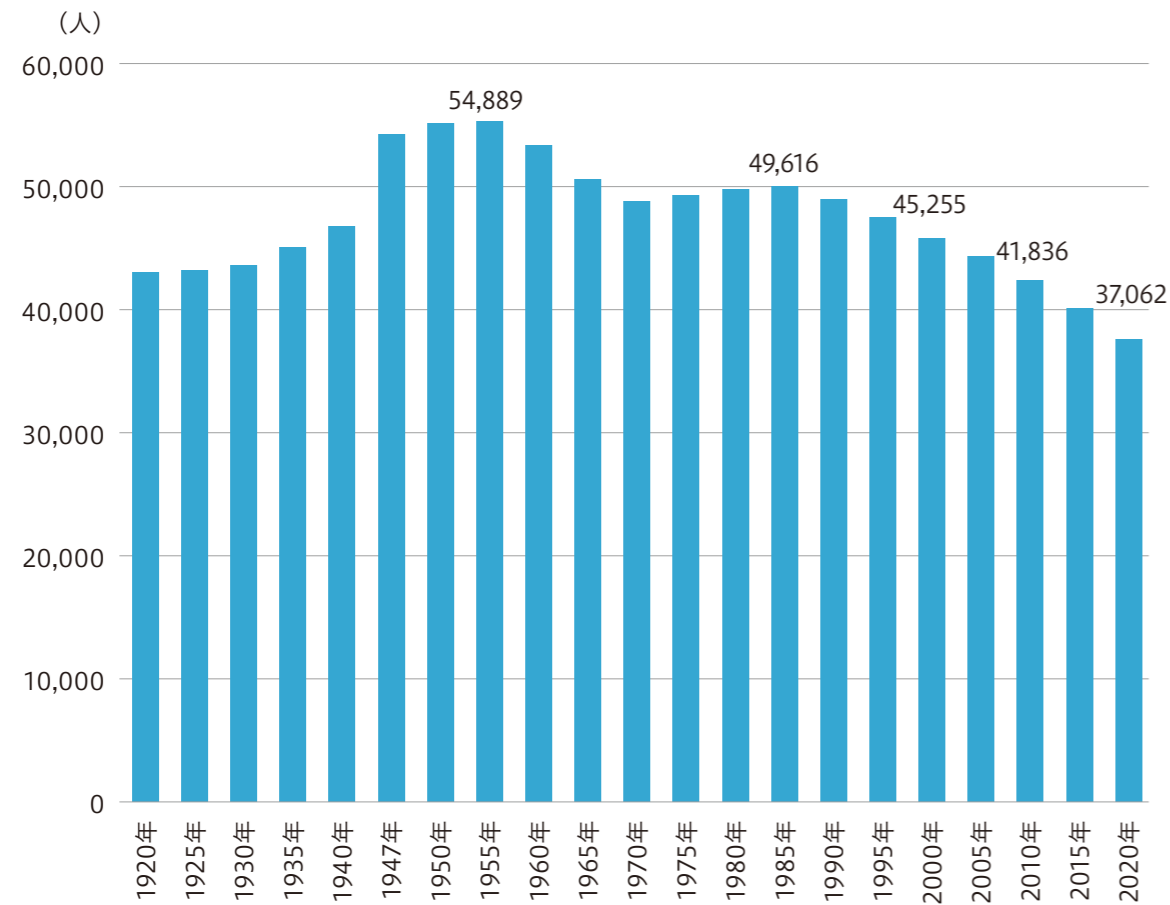
交流センターを核にして独自のコミュニティの活動が根付いているとともに、まちづくり活動などに取り組む人々や団体も多く、人材の豊富なまちです。また、都市において近隣関係が希薄化しつつある中で、地域のつながりが強いまちでもあります。

### (3) 人口の推移

安来市の人口は、減少傾向で推移しており、1985年の49,616人から、2020年には37,062人と、1985年と比較すると約25%の減少になっています。

第2次安来市総合計画策定前の10年間（2000～2010年）と策定後の10年間（2010～2020年）を比較すると、策定前の10年間では3,419人（7.6%）減少していますが、その後の10年間では4,774人（11.4%）の減少がみられ、人口減少が加速していることがわかります。

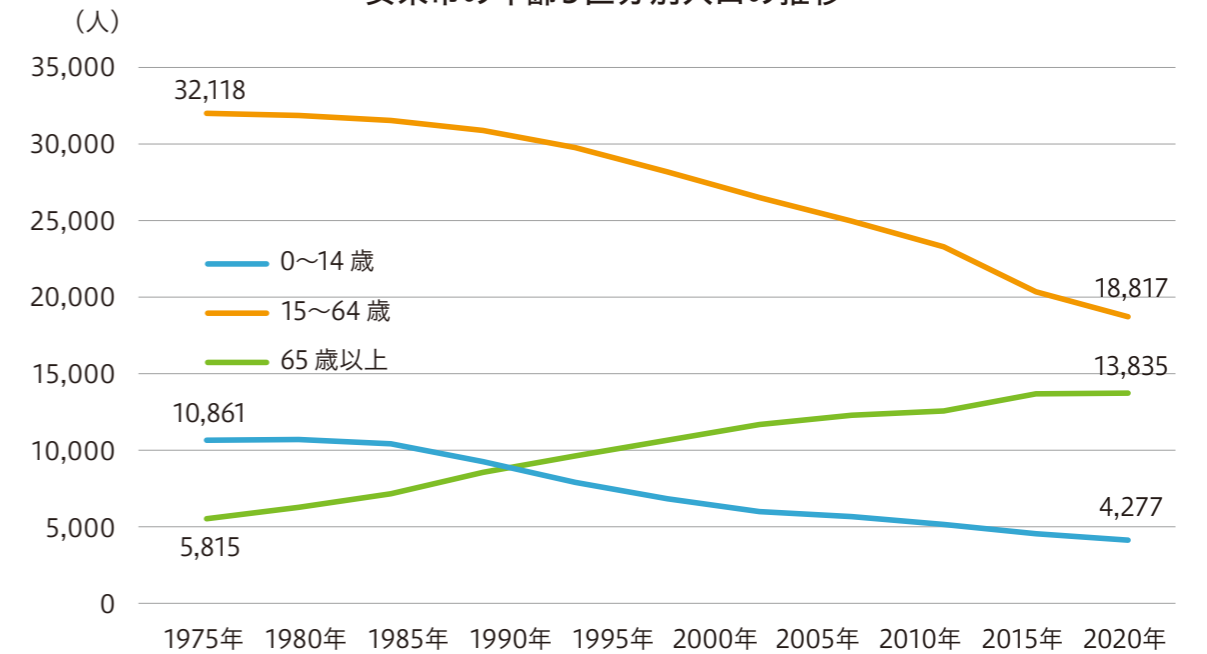
安来市の総人口の推移



※国勢調査  
 ※1945年の国勢調査は終戦直後のために中止となり、1947年に臨時国勢調査が実施された。

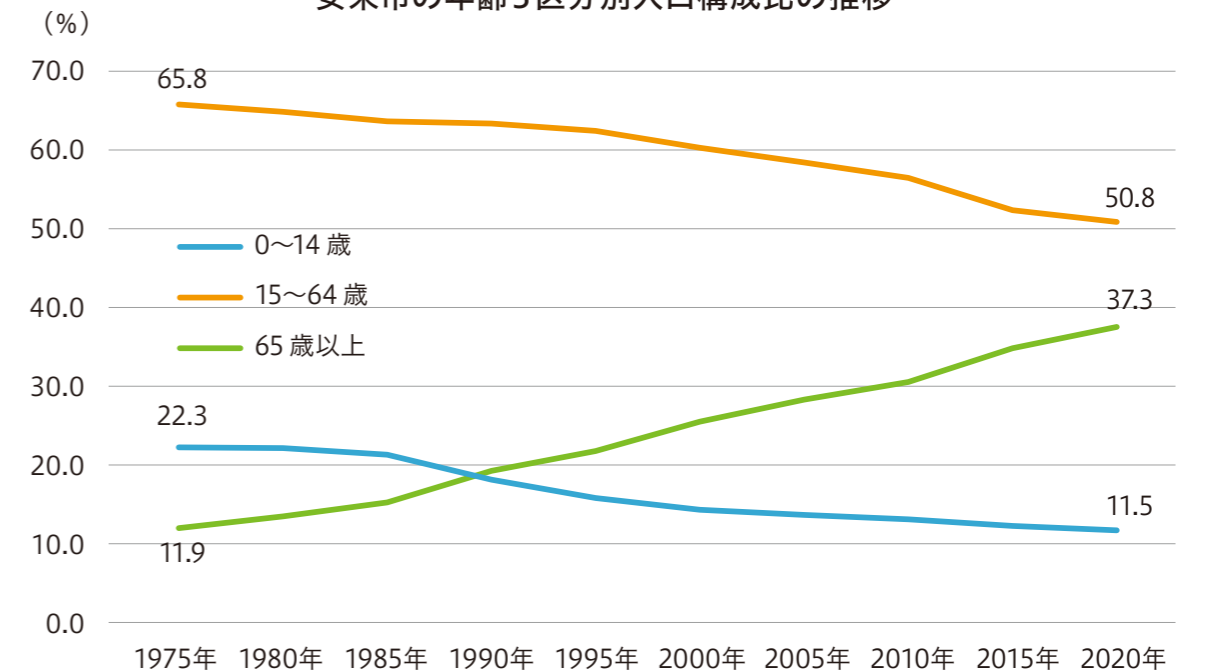
また、年齢3区分別の人口推移をみると、老年人口（65歳以上）が増加する一方で、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少が続いており、少子高齢化が進行していることがわかります。

安来市の年齢3区分別人口の推移



※国勢調査（年齢不詳を除いているため、年齢3区分別人口の合計は人口総数と一致しない）

安来市の年齢3区分別人口構成比の推移



※国勢調査（年齢不詳を含む人口総数を分母として算出しているため、年齢3区分別人口構成比の合計は100%にならない）

## 2 総合計画について

### (1) 策定の趣旨

安来市では、市の最上位計画であり“市の行財政運営の指針”として、また市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”として、さらに計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”として「第2次安来市総合計画」を平成27年3月に策定し、将来像「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現に向けた取組を進めてきました。

この間、わが国においては、全国的な人口減少と少子高齢化の進展、若者を中心とした人口の東京圏への一極集中の加速、大規模地震や局地的な豪雨による土砂災害等の自然災害の多発化、新型コロナウイルス感染症の流行、ライフスタイルや価値観の多様化、デジタル化・DXの加速など、社会情勢は大きく変化しています。

さらに、世界的な人口増加（特に発展途上国・新興国）を背景に、食糧（生産能力）やエネルギー（石油などの化石燃料）等、限りある地球資源の不足・枯渇を危惧する意識が高まる中、2015年に17の目標と169のターゲットで構成された持続可能な開発目標（SDGs）が国連で採択され、地方自治体においてもSDGsの達成に向けた取組が求められています。

このような中で、住民のニーズや行政に求められる役割も大きく変化しています。

第3次安来市総合計画は、現在の社会経済情勢、地域の状況及びこれまで築きあげてきたまちづくりの成果と課題を踏まえ、安来市の新たなまちづくりの指針として定めるものです。

なお、「第3次安来市総合計画」の「前期基本計画」は、「第3期安来市創生総合戦略」と一体的に策定を行い、その取組については、本計画に包含するものとします。

### (2) 第3次安来市総合計画の役割

#### 市の最上位計画であり“市の行財政運営の指針”

総合計画は、安来市における全ての計画や施策の最上位に位置づけられる計画です。住民自治を基本としながら、目指すべき将来像を描き、将来像の実現に向けた取組の方向性を示す“市の行財政運営の指針”としての役割があります。

#### 市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”

総合計画は、市民と行政が対話を重ね、協力しあう関係を生み出しつつ、目指すべき将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため、目標を共有する“まちづくりのための行動指針”としての役割があります。

#### 計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”

総合計画は、安来市が目指す将来像の実現に向けて取り組む内容を定めるとともに、その取組が計画的に実施されているかどうかを進行管理し、評価するためのものでもあります。目標（目指す姿）を明確にし、その目標の達成状況を測る“進行管理のものさし”としての役割があります。

### (3) 総合計画の構成と期間

#### ■基本構想(10年間)

基本構想は、安来市の特性、市民のニーズ、時代の潮流、安来市の置かれている位置や直面する課題等を検討し、将来像や基本目標、そして、それを実現するための施策の体系等を示すものであり、令和8（2026）年度を初年度とし、令和17（2035）年度を目標年度とする10か年の長期構想です。

#### ■基本計画(前期・後期)

基本計画は、基本構想の施策の体系に基づき、本計画期間において取り組むべき主要な施策を各分野にわたって定めています。

計画期間は、前期を令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間、後期を令和13（2031）年度から令和17（2035）年度までの5年間とします。

また、第3期の総合戦略の計画期間は、前期基本計画に合わせて令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
基本構想	令和8年度～令和17年度 (10年間)									
基本計画	令和8年度～令和12年度 (前期基本計画:5年間)					令和13年度～令和17年度 (後期基本計画:5年間)				
総合戦略	令和8年度～令和12年度 (第3期総合戦略:5年間)					令和13年度～令和17年度 (第4期総合戦略:5年間)				

## (4) SDGsの推進

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成を目指す国際社会全体の17の開発目標です。

我が国においても、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献していくことを示す、「SDGsアクションプラン2019」が策定され、地方自治体においてもSDGsの達成に向けた取組が求められています。

SDGsは、総合計画の将来像を実現するための社会・経済・環境の確保に向けた“持続可能なまちづくり”の目標としても捉えることが可能です。

こうした観点から、安来市では、総合計画の基本計画についてのSDGsの目標との関連を示し、各章の施策の推進と関連する目標指標の実現を図ることにより、SDGsの達成につなげていきます。



## (5) 地域幸福度(Well-Being)指標を活用したまちづくりの推進

デジタル庁が推進する「地域幸福度 (Well-Being) 指標」は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化する取組です。

地域幸福度 (Well-Being) 指標は、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群 (生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方) から構成されています。従来のまちづくりは、人口や経済指標などの客観的なデータのみで評価されがちでしたが、統計データによる客観的な暮らしやすさ (客観指標) に加えて、住民の主観的な幸福感 (主観指標) の視点を組み合わせることで、地域の強みと課題を俯瞰的に捉えることができます。

デジタル庁が提供するダッシュボードにより、全国の自治体との比較も可能となり、データに基づいた効果的な政策立案につなげることができます。また、住民にとっても自分たちの声が数値となって反映されることで、まちづくりへの参加意識の向上にもつながります。

安来市では、総合計画の策定に当たり、地域幸福度 (Well-Being) 指標による市民意識調査を行いました。前期基本計画や総合戦略の目標指標の設定に当たっても、この指標を活用し、市民の「心ゆたかな暮らし」に向けたまちづくりを推進していきます。

**主観指標【アンケートによる主観データ】**

幸福度・生活満足度を計る4つの設問

- 1 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 2 現在、あなたの町内(集落)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 3 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか？
- 4 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

+

3つの因子群

※因子群は合計24のカテゴリーに細分化されます。

<p><b>生活環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療・福祉</li> <li>買物・飲食</li> <li>住宅環境</li> <li>移動・交通</li> <li>遊び・娯楽</li> <li>子育て</li> <li>初等・中等教育</li> <li>地域行政</li> <li>デジタル生活</li> <li>公共空間</li> <li>都市景観</li> <li>自然景観</li> <li>自然の恵み</li> <li>環境共生</li> <li>自然災害</li> <li>事故・犯罪</li> </ul>	<p><b>地域の人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのつながり</li> <li>多様性と寛容性</li> </ul>	<p><b>自分らしい生き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己効力感</li> <li>健康状態</li> <li>文化・芸術</li> <li>教育機会の豊かさ</li> <li>雇用・所得</li> <li>事業創造</li> </ul>
---	---	--

**客観指標【オープンデータによる客観データ】**

3つの因子群

※因子群は合計24のカテゴリーに細分化されます。

<p><b>生活環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療・福祉</li> <li>買物・飲食</li> <li>住宅環境</li> <li>移動・交通</li> <li>遊び・娯楽</li> <li>子育て</li> <li>初等・中等教育</li> <li>地域行政</li> <li>デジタル生活</li> <li>公共空間</li> <li>都市景観</li> <li>自然景観</li> <li>自然の恵み</li> <li>環境共生</li> <li>自然災害</li> <li>事故・犯罪</li> </ul>	<p><b>地域の人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのつながり</li> <li>多様性と寛容性</li> </ul>	<p><b>自分らしい生き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己効力感</li> <li>健康状態</li> <li>文化・芸術</li> <li>教育機会の豊かさ</li> <li>雇用・所得</li> <li>事業創造</li> </ul>
---	---	--

## (6) 総合計画審議会

### ■委員構成(令和6年11月22日から令和7年11月18日まで)

(順不同、敬称略)

氏名	所属組織等	備考
勝部 慎哉	学識経験者	会長
高須 佳奈	島根県立大学	副会長
野々村 千映子	学識経験者	
川戸 聡也	米子工業高等専門学校	
渡部 仁	安来商工会議所	
矢田 篤	島根県農業協同組合やすぎ地区本部	
小松原 勝之	社会福祉法人 安来市社会福祉協議会	
岸川 勉	安来市自治会代表者協議会	令和7年7月31日まで
矢田 洪介		令和7年8月1日から
杉谷 健治	安来市労働組合協議会	令和7年1月16日まで
松田 英樹		令和7年1月17日から
醍醐 靖幸	安来市観光協会	
宇山 賢二	一般社団法人 安来青年会議所	令和7年6月1日まで
矢田 敦子		令和7年6月2日から
角 陽子	安来市子ども・子育て推進会議	
多胡 順子	安来市PTA連合会	令和7年6月1日まで
来海 雄馬		令和7年6月2日から
板持 潤一	やすぎボランティア団体ネットワーク	
中村 明臣	松江公共職業安定所安来出張所	
小川 俊一	安来金融会	令和7年6月1日まで
重道 直樹		令和7年6月2日から
藤井 満弘	株式会社 山陰中央新報社	
寺田 琢磨	一般公募	
石田 優美	一般公募	
中村 高志	一般公募	

### ■審議会条例

#### ○安来市総合計画審議会条例(平成17年3月23日条例第1号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、市長が必要と認めるときは期間を定めて、安来市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、市の総合計画の策定に関し必要な調査及び審議を行う。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等の代表者
- (2) 識見を有する者

3 委員は、諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長1人及び副会長1人を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第6条 審議会は、その審議上必要があると認めるときは、審議に関係のある者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、政策担当課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

安政第54号  
令和6年11月22日

安来市総合計画審議会長 様

安来市長 田 中 武 夫



第3次安来市総合計画について（諮問）

安来市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、第3次安来市総合計画について貴審議会の意見を求めます。

令和7年11月18日

安来市長 田 中 武 夫 様

安来市総合計画審議会

会長 陽部慎哉

第3次安来市総合計画について（答申）

令和6年11月22日付けで諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議した結果をまとめましたので、別添のとおり答申します。

なお、計画の実施に当たっては、下記の事項について留意して計画実現に努められるよう要望します。

記

1. 今後の安来市のまちづくりにおいては、将来像「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」や基本姿勢「真価（真の価値を考える）・深化（つながりを深める）・進化（チャレンジを続ける）」を様々な機会を通じて市民にわかりやすく伝えるよう努めてください。その上で、市民一人ひとりがまちの将来を「自分ごと」として考え、行動できるよう、市民参画・協働の取組や、市民のチャレンジに対する後押しや機運醸成を一層進めていくことを望みます。
2. 安来市に受け継がれてきた歴史や人々の営みを大切にし、市民の誇りとして次世代へ引き継いでいくために、若者や子どもたちの安来への愛着や定住意向を継続的に把握しながら、必要な施策を着実に進めることを望みます。
3. 人口減少を避けられない現実を踏まえつつも、将来人口目標の実現に向けて、子育て支援、雇用の確保・拡充、生活の質と豊かさの向上、移住・定住支援、地域のつながりづくりなどの地方創生施策を戦略的に推進することを望みます。
4. 地方創生の着実な推進と効果的な進行管理のため、事業の実施状況や目標の達成状況を市民とともに検証・改善し、その成果や課題をわかりやすく公表する仕組みを整えることを望みます。

以上

## (7) 総合計画策定の経過

令和6年

日程	内容
9/23	キックオフイベント 「YASUGI Well-Being DAY!! ～みんなで『しあわせなまち』を考えよう！～」 ・第1部: ゲストトーク「お笑い芸人の『幸福』の考え方」 ・第2部: みんなでトーク「多世代から見つめる『わたしにとって幸せな暮らしとは?』」
9月～10月	市民意識調査(市民(18歳以上)、高校生、中学生、WEB(誰でも))
11/22	安来市総合計画審議会諮問 第1回安来市総合計画審議会 ・第3次安来市総合計画策定について

令和7年

日程	内容
1月	関係団体等ヒアリング
2/28	第2回安来市総合計画審議会 ・人口ビジョン(案)について(報告) ・第3次安来市総合計画基本構想の方向性について
5/11	まちづくりワークショップ ・グループワーク①「安来の良いところ・自慢できるところを教えてください」 ・グループワーク②「今から10年前には想像していなかった2025年に起きていることは何ですか?」 ・グループワーク③「10年後、あなたはどこでどんな暮らしをしたいですか?」 ・グループワーク④「若者・子育て世代が安来市で暮らし続ける・Uターンしてくるために必要だと思う取組は何ですか?」
5/16	島根県立大学生とのまちづくりワークショップ振り返り会 ①安来市の魅力について ②ここを磨けば安来はもっと輝く! アイデア出し ③将来の働き方についての意見交換
6/12	第3回安来市総合計画審議会 ・市民ワークショップの開催結果について(報告) ・第3次安来市総合計画基本構想(案)について
7/22,23,28	まちづくりタウンミーティング ・第3次安来市総合計画基本構想(案)の説明・質疑応答 ・10年後の地域のあるべき姿について
8/25	第4回安来市総合計画審議会 ・タウンミーティングの開催結果について(報告) ・第3次安来市総合計画基本構想(案)について ・第3次安来市総合計画基本計画(案)について
9/19～10/18	パブリックコメントの実施

日程	内容
11/6	第5回安来市総合計画審議会 ・第3次安来市総合計画基本構想(案)について ・第3次安来市総合計画基本計画(案)について ・答申(案)について
11/18	安来市総合計画審議会答申
12/1	安来市議会議決(基本構想) 安来市議会全員協議会了承(前期基本計画)

キックオフイベント「YASUGI Well-Being DAY!! ～みんなで『しあわせなまち』を考えよう！～」



まちづくりワークショップ



島根県立大学生との振り返り会



まちづくりタウンミーティング



安来市総合計画審議会



## (8) 掲載出典



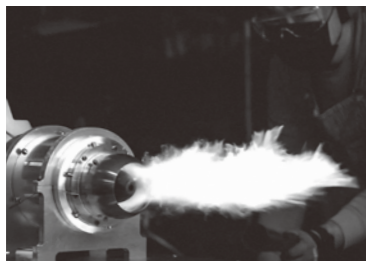
### ネオ安来節

伝統芸能である「安来節」を現代風にアレンジした新しいダンスコンテンツ。安来節のコミカルな動きやユーモラスな振りはそのままだに、ポップな音楽やダンスを融合させ、「安来節を世界へ!」というテーマで安来市のPRと安来節の普及のために企画されました。



### 鍛冶工房 弘光

江戸時代から続く鍛冶屋。刀剣鍛錬の技術を活かした日本の伝統工芸品や現代的な鉄製品を制作しています。主な作品は、デザインの燭台や行灯といった灯り工芸品、鉄のフライパンなどの新作品があり、伝統的な「鍛造」という技法で一点一点手作りされています。



### SUSANOO

特殊鋼加工関連の企業グループ「SUSANOO」が、島根大学と連携し、航空機産業を目指すために開発した小型ジェットエンジンです。グループの技術力向上のためのプロジェクトの一環として、参加企業が分担して部品を製作し、協力して完成させたものです。



### 足立美術館

創設者の足立全康が収集した美術品をもとに、1970年に開館した美術館。5万坪に及ぶ日本庭園と、横山大観を中心とした日本画や陶芸のコレクションで知られています。また、米国の専門誌による日本庭園ランキングでは2003年から連続で1位に選出されています。



### どじょうすくい踊り

郷土民謡である安来節に合わせ、どじょうをすくう仕草を面白おかしく表現した踊りです。元々は、安来の若者たちが酒盛りの際に、どじょうをすくう動作を真似て楽しんだことが起源とされ、そのユーモラスな動きが人気を博し、全国的に広まりました。



### 安来いちご

「章姫(あきひめ)」と「紅ほっぺ(べにほっぺ)」といった品種を中心とした完熟いちごです。こだわりは、甘さを引き出すために完熟してから収穫すること。鮮度を保つため、近隣地域のみで販売され、新鮮で質の高い、安来ならではの味が特徴です。



1	3	6	9
2	4	7	10
11	14	15	18
12	14	16	19 20
13	14	17	21
22	23	24	25 26
27	28 30	31	33
	29	32	

- 1・27・28) 天野紺屋
- 2・16) utsubon0725
- 3) わたなべ牧場
- 4) 上の台緑の村
- 5・15) mai.photo\_\_
- 6) 足立美術館
- 7) 安来市観光協会
- 8) 大正屋醤油店
- 9) yuki0207n
- 10) 1975hamada
- 11) 岩田製作所
- 12) 吉田酒造
- 13) 広瀬和紙 紙季渡
- 14) 真砂昇平
- 17) SUSANOO
- 18) konatsu camper
- 19・20) 安来市観光協会
- 21・25) 鍛冶工房弘光
- 22) 広報やすぎ「どげなかね」
- 23) yasugi\_official Instagram
- 24・29) 島根県立安来高等学校
- 26・30) え〜ひだ市場
- 31・32・33) 安来市動画チャンネル